

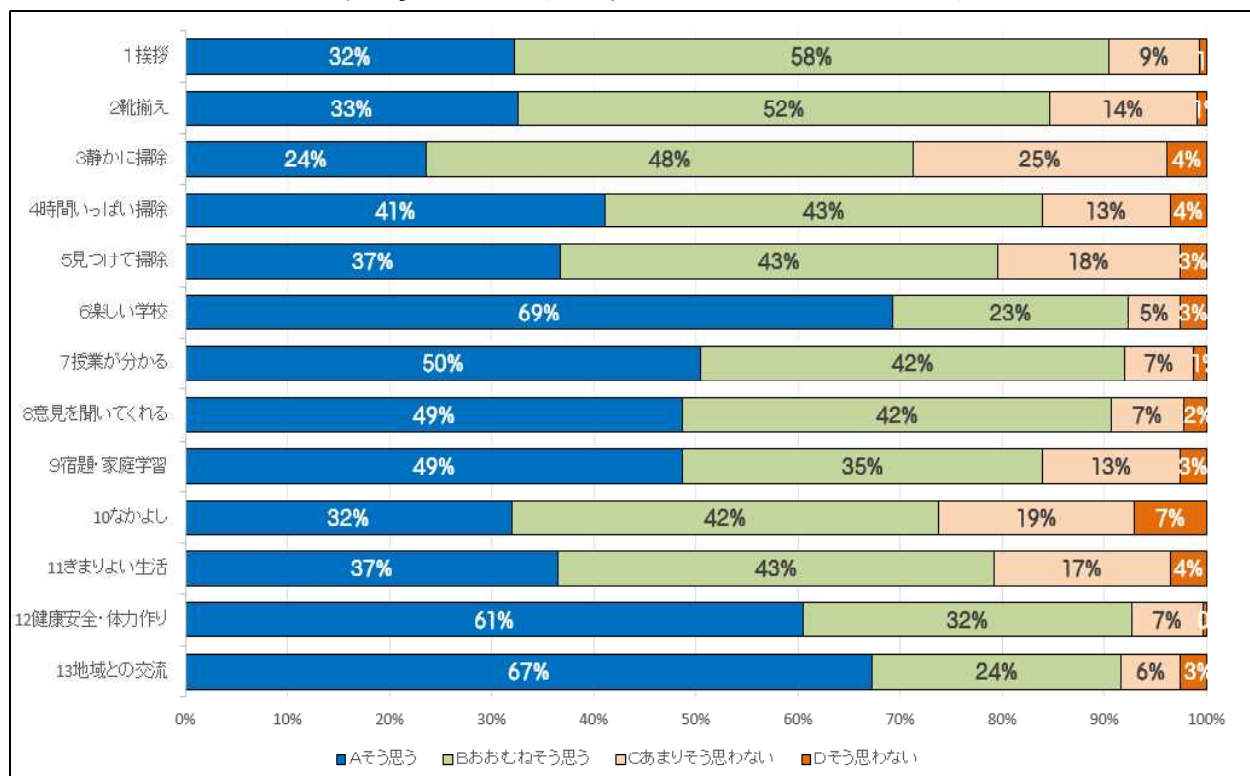
平成30年度 中佐都小学校学校自己評価報告書

平成31年1月23日

アンケート実施日 : 平成30年11月2日～8日

回収率 : 児童98.4% 保護者95.1% 職員100% 学校関係者16名

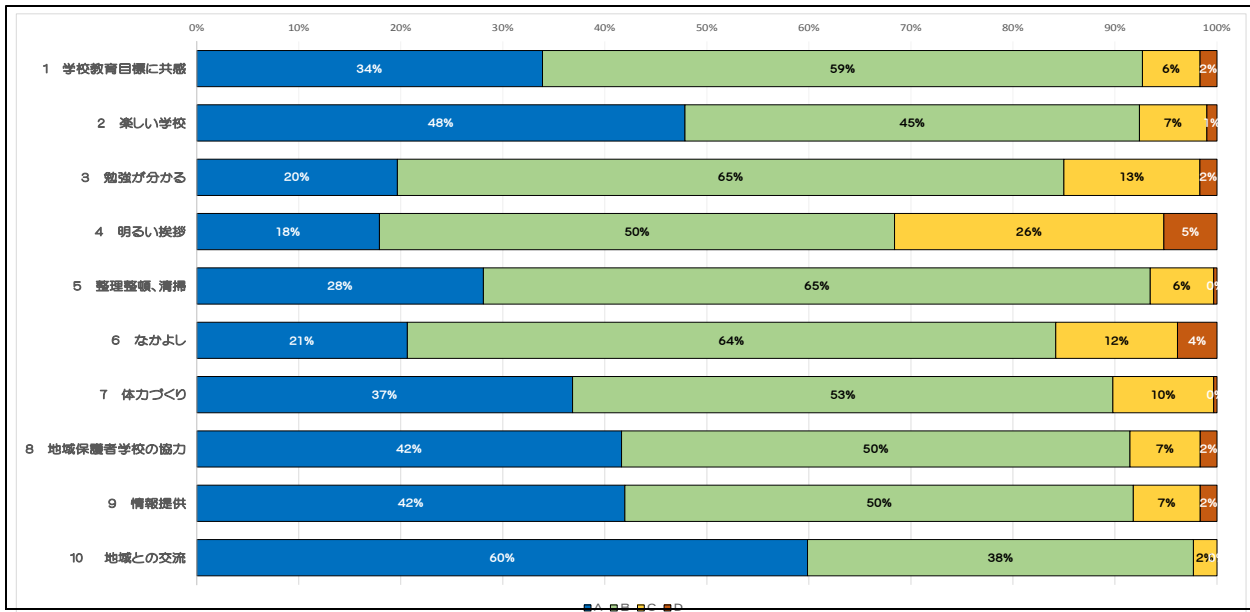
< グラフ1: H30年度 児童(全校)のアンケート結果 >



【児童の結果の考察】

- 全体的に見て、昨年度とほぼ同じ傾向であり、どの項目もA・Bの合計で見るとよい評価になっているが、挨拶は、昨年度に比べよくできていると感じている子が減っている。
- 項目3の静かに清掃については、5%ほど昨年より良い方に伸びている。
- 項目4の「時間いっぱい清掃」については、Aを選択した子だけで見ると、昨年度より10%減っているが、Bの子を合計するとほぼ同程度になっている。今後も更に時間いっぱい清掃する気持ちを育てていきたい。
- 項目6の「楽しい学校」でA選択した子が昨年度より減った(-4%)が、昨年とほぼ同程度であった。
- 項目9の宿題・家庭学習でAを選択した子の割合が減り、C、Dと答えている子が人数でバイ近くなっている事が気になる。項目7の「授業が分かる」とも関連している。こちらの項目も昨年度よりA、Bの合計%が下がっている。学習への興味をもたせ、取り組めるようにするための手だての工夫が必要である。
- 項目13「地域との交流」では、Aを選択した子は、全体の80%に達しておらず、B選択を含めても昨年の97%に比べ5%ほど低い結果となっている。児童としては、教えていただいたりお世話になったりしていることへの関心が高くない。(やっていただいて当たり前と思っているのだろうか)
- 記述欄については、ほぼ例年と同じ傾向が見られた。学校の自然環境のこと、友だちにやさしくしてもらった、先生に褒められてうれしかったなどに加え、授業が分かったと書いている児童にも注目したい。良さや喜びを感じて過ごしている児童が多いが、反面、困ったこと・嫌なことの中に、友だちからされて嫌だったことや、先生に強く怒られていやだったこと等も書かれていた。記述内容についても、職員が真摯に受け止めて改善していかなくてはならない。良さは更に広げ充実させていき、改善すべき点においては、きめ細かな対応をしていきたいと思う。

< グラフ 2 : H 3 0 年 度 保 護 者 (全 校) の ア ン ケ ー ト 結 果 >



【保護者の結果の考察】

- 特によい評価なのが、「10 地域との交流」98% (AとBを加えた数値。以下同じ)。日頃の育成会行事や地域の方による学習支援ボランティア、まちゼミ等の活動を、保護者の皆さまにご理解・ご支援いただけているものとする。
- プラスの評価が低い結果となっているのは、「4 明るい挨拶」68%。昨年度より4ポイント低下。今までの取り組みを見直し、改善に努めていく。
- 今年度からおこなっている行事の見直しについても多くの意見をいただいた。いただいた意見を参考にしながら今後も行事の見直しを進めていく。
 - ・ 変更した点などがあっても、子ども達は頑張っている様子だったので問題なかった。
 - ・ 子どもや学校の先生方の事を考えると時間短縮で良いと思う。
 - ・ 運動会の大人の競技は省いて良い。
 - ・ 音楽会で高学年の出番が少なくなったことは仕方のないことだが、残念に思った。
- 自由記述欄でご指摘いただいたのは、教師の児童へのことば、クラスの友だち関係やトラブル、挨拶の状況、各行事への参加について等である。

【自由記述欄から】

< 低学年 >

- 通知表の記述に、よく見てくれていると感じる。
- いつも温かく指導していただいている。子どもから学校がいやだと一度も聞いたことがなく、安心して送り出している。
- 「たくさん褒めてあげてください」と言われ、褒めることが少なくなってきた自分に気づいてハッとさせられた。

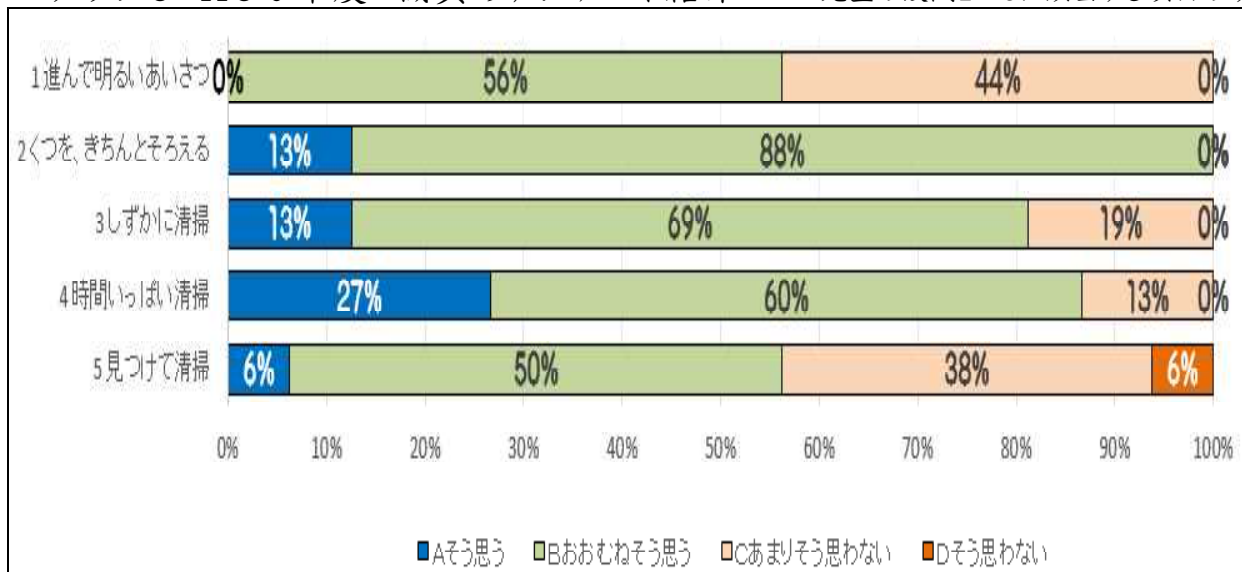
< 中学年 >

- 学級通信からも、子ども達を細やかに見て下さっている様子がよく分かります。有り難いです。
- 授業が分かりやすいのがいいそうです。
- 字がきれいに書けたら褒める、宿題を忘れたら注意されたらちゃんと子どもを見ていただけている安心感があります。ありがとうございます。

< 高学年 >

- 学習面においても授業や宿題など日頃の丁寧なご指導ありがとうございます。
- クラス全体、一致団結してほしい。
- 休日も地区行事に参加して下さったり、子ども達に熱中対策としてアメをくださったり、いつも子ども達のために熱心にしていただき、ありがたく思っています。

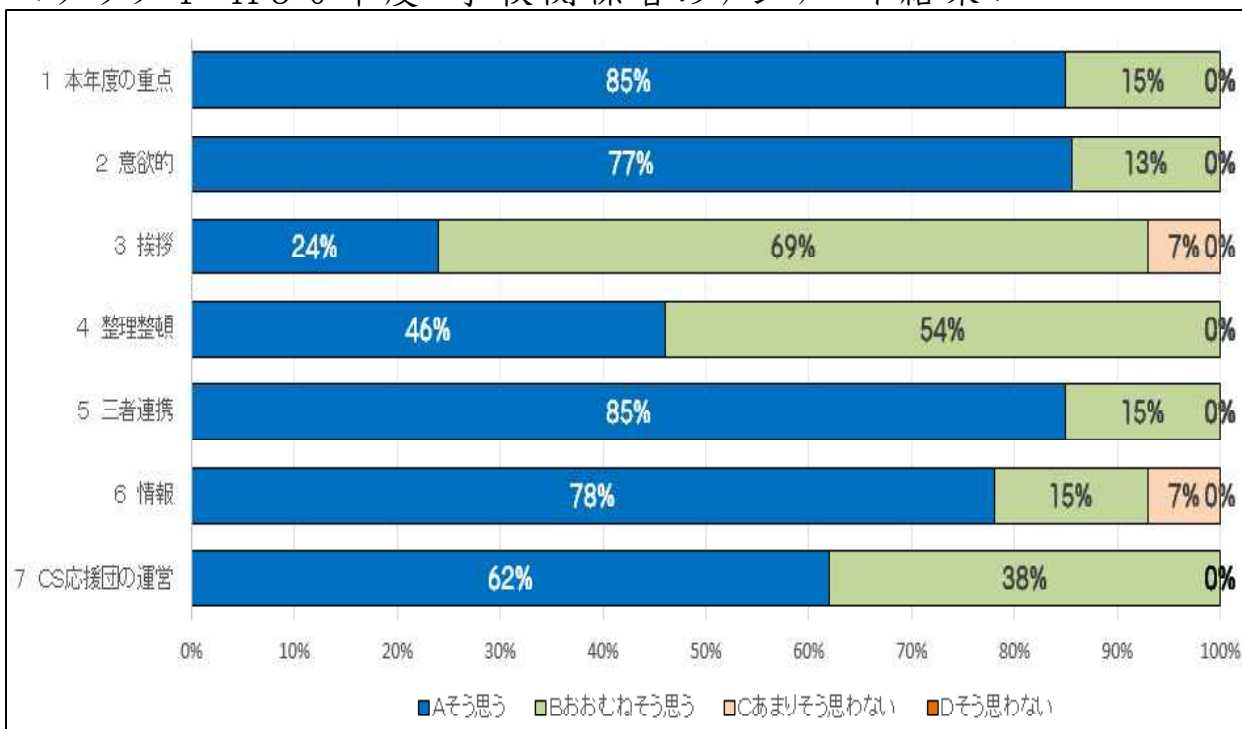
<グラフ3：H30年度 職員のアンケート結果> ※児童の設問1～5に該当する項目のみ



【職員の結果の考察】

- 挨拶に関しては、教師に対しては、よく挨拶ができていると思うが、友達に返す姿が弱いように見える。また、自分から挨拶をしてくれる子どもが少ないように感じる。
- 清掃は、児童会と一緒にやり取り組んできたこともあり、しじみ清掃を全体通して意識できている印象がある。姉妹清掃を年に2回（1学期 1週間、2学期 なかよし旬間に合わせて2週間）実施してきていることが改善の大きな要因と考える。「高学年は低学年のお手本になるように・低学年は高学年を見習って」の合い言葉を提示して児童の潜在的な力を引き出した取組が効果的だったと思われる。
- 今年度、靴そろえにも力を入れてきた。児童会で靴をそろえる呼びかけを行うなどの取り組みや、良い靴の入れ方を写真で掲示するなど視覚的にも分かりやすく指導してきた。靴をそろえることを意識する児童が増えている。しかし、靴のかかどを踏んでいるなど正しい靴の履き方をしていない児童が目立つので指導をしていく。

<グラフ4：H30年度 学校関係者のアンケート結果>



【学校関係者の結果の考察】

※学校関係者：中佐都小CS応援団推進委員、運営委員、学習支援ボランティア

【自由記述欄から】

- 真剣に取り組む姿勢に感動した。
- 英語の授業では、外部からの語学が達人な先生（ネイティブ）が入っており、これからの英語力アップに期待ができそうで、たいへん良かったと思う。
- 外部の人間に対する職員の挨拶はもう少しきちんとあってもいいかもしれない。
- 子どもたちに対する先生方の対応が、以前に比べると大変良くなっているように感じる。どの先生も一生懸命の中に愛情を感じる。先生方も大変な時代だが、身体に留意され子どもたちをお願いしたい。
- 時代の要請の中で行事が見直されることはやむを得ないことで、従前に比べ物足りない部分もあるがおおむね良かった。
- 短い時間の中で、よく考えて発表されていた。子どもたちも先生方も一生懸命練習された成果を感心しながら見させていただいた。

<まとめ>

- 課題の見られるものについては、31年度の学校運営に向けてプロジェクトを組織し、具体的な取り組みを決めだしていく。自由記述欄にも多様なご意見をいただいた。プロジェクトで検討し改善につなげていきたいと思う。
- 児童は挨拶についてはできていると思っているが、保護者や地域の方の評価は低くなっている。挨拶は言葉だけでなく、姿勢や声の大きさ、表情などいろいろな要素をとめない相手に伝わると言うことを具体的に指導していきたいと思う。学校・保護者・地域で「大人から声をかける」「大人同士があいさつし合う」等に取り組み、子どもたちに挨拶のお手本を見せることも考えていきたい。
- 児童が身の回りの整理整頓に心がける力を育てるとともに、学校全体の環境を見直し、安全で機能的かつ美しい環境をつくるよう更に努力してく。
- 児童の気持ちに添った指導を心がけ、わかる授業・楽しい学校づくりに向けて更に研鑽していく。

<プロジェクト>

プロジェクトの内容及びメンバー

◎統括：校長 ○全体調整：教頭

No.	プロジェクト名	内容	メンバー
1	学力・体力向上PJ	① 全国学調の結果のまとめを作成し、CRT、発達検査等各種調査の結果等に基づき本校の実態（課題）を明確にする 体力実態を明らかにする ② 諸検査の活用法検討（Q-U等） ③ 全校体制で取り組む学力、体力向上の柱と具体的な方策を決め出す（通年を通しての全校運動の計画等） ④ 重点研究の教科、内容、推進計画を決める ⑤ グランドデザイン「かしこく」の列見直し	◎三石 ・村山 ・一ノ瀬 ・関口 ・羽毛田
2	新しい時代に向けた学校づくりPJ	① 新CSに向けて教育計画の見直し 教科「道徳科」の指導計画、教科「外国語科」、「外国語活動」の指導法、教材準備等、時数計算、評価 ② 特別活動の全体計画の作成 ③ 日課の見直し（朝の日課を変えて欲しい） モジュールの時間の検証と来年度のあり方 ④ 学校文集の改善	◎佐々木 ・盛 ・日田香 ・尾沼 ・赤羽
3	児童支援PJ	① 新入学児童への支援・幼保との連携で実態把握 ② 支援が必要な児童全員の個別の指導計画作成 ③ 特支入級児童の個別の支援計画作成 ④ 支援が必要な児童の資料整備（データ・紙ファイル） ⑤ 学習室、ひまわり学級の経営の重点・方向について ⑥ グランドデザイン「なかよく」の列見直し ⑦ 校内支援会議、支援教材 ⑧ 特別支援学級とインクルーシブ教育（学校としての方向性）	◎日田靖 ・重田 ・山越 ・有賀
4	環境づくりPJ	① 「（児童保護者アンケートから決め出す）」ができる子どもを目指す具体的な手立てを決め出す。 ② 超過勤労期間の縮減目標作成、業務改善の提案 ③ 運動会と音楽会の内容の更なる見直し案の提案 ④ グランドデザイン「さいごまで」「ふるさととともに」の列見直し ⑤ 児童名簿の見直し ⑥ 校庭整備について ⑦ ロッカーの配置や数 ⑧ 喫煙場所対策（敷地内禁煙） ⑨ 廊下歩行ができるように（校内の遊び場） ⑩ 学級園を使いやすくするには（農機具庫など） ⑪ PTA事業の見直し（PTA新開が負担になっている） ⑫ わら細工講習会とまちゼミをどうしていくか	◎赤尾 ・萩原 ・依田ひ ・井出博 ・依田圭